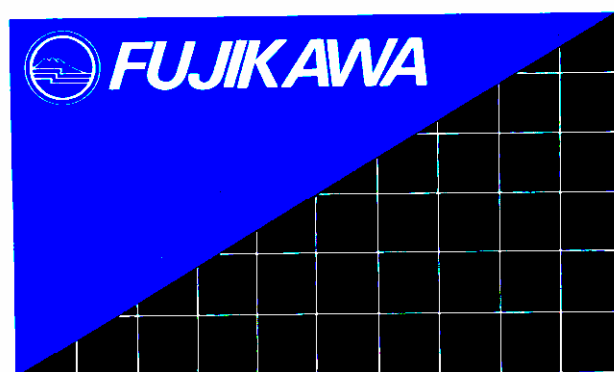


アクリル系 合成高分子エマルジョン

# Sealex

富士川シーレックス AF-5000



富士川建材工業株式会社

# Sealex 富士川シーレックス AF-5000

〈混入・塗布〉アクリル系合成高分子エマルジョン

富士川シーレックスAF-5000は、セメント混和用、及び塗布接着用のアクリル系合成高分子エマルジョンです。

吸水調整材として塗布することによりモルタル等の接着強度を高めると共に作業性の向上に役立ちます。

セメントの混和剤として使用することにより、接着性、曲げ強度、耐透水性、耐摩耗性、凍結融解安定性等の諸物性を著しく向上させます。またセメント混和安定性が良く、可使時間が長いことため鍍塗り作業性が良好です。

富士川シーレックスAF-5000は、耐アルカリ性のアクリル系合成高分子エマルジョンを使用しているためSBR系、EVA系と比較して収縮性が少なく、耐久性、耐候性が極めて優れています。

## ● 特 長

- 1 セメントモルタルとの混和性が良く混入用、塗布用いずれにも使用できます。
- 2 接着力が大きい。
- 3 水に分散し易く、鍍への粘り着きがなく、むら直し、鍍押えなどの作業性が良い。
- 4 柔軟性にとみ、下地の変形に順応できる。
- 5 セメントの防水性、耐薬品性、耐久性、耐候性等の性能の向上。
- 6 塗布接着用は、5倍液で使用できる。

## ● 性 状

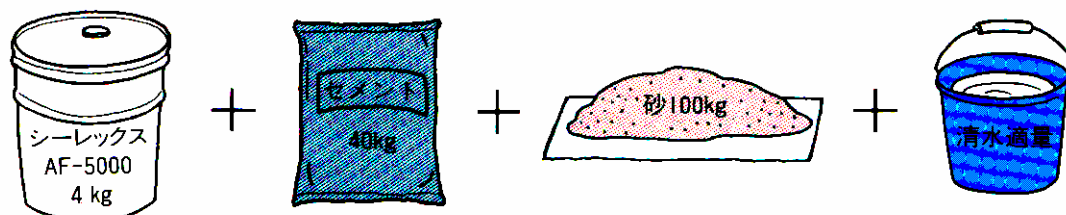
|      |             |         |                 |
|------|-------------|---------|-----------------|
| ●主成分 | アクリル系樹脂     | ●粒子径    | 0.3 $\mu$ 以下    |
| ●外 観 | 乳白色エマルジョン   | ●最低造膜温度 | 0℃              |
| ●固型分 | 45%         | ●凍結安定性  | -10℃/16h~30℃/8h |
| ●粘 度 | 100~1000cps |         | 5サイクル安定         |
| ●pH  | 9±1         | ●機械安定性  | 良好              |
| ●比 重 | 1.03        | ●稀釈安定性  | 良好              |

## ● 混入工法

セメントモルタルとの混和性が良く、付着性、曲げ強度、耐久性等の諸物性を向上させます。  
また、可使時間が長く、作業性が良好です。

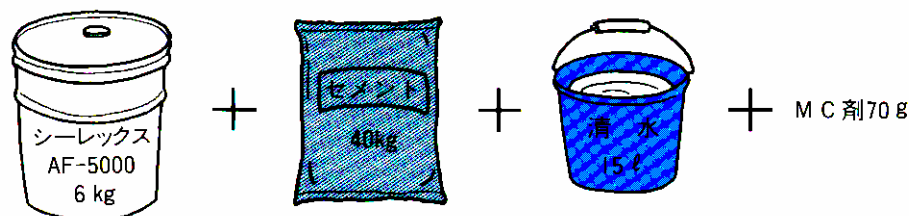
### 1 樹脂混入モルタル調合

- 下地調整、目違い凹部補修。
- 豆板、巣穴補修。
- 開口部回りサッシ詰め。



### 2 ノロセメント調合

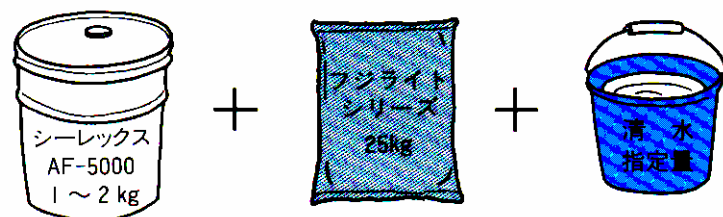
- 床、地下室等のモルタル剥離防止。



※ノロセメント塗り付け後、追っかけでモルタルを塗ってください。

### 3 既調合材調合

- 下地調整、目違い。
- タイル貼り下地補修。



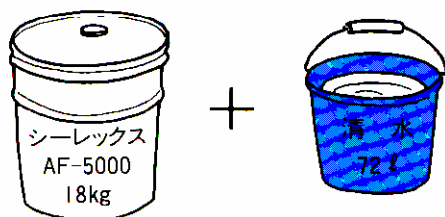
### 4 その他

- サンドモルタル、石灰系化粧材(かき落しリシン、しっくい等)の付着力強化、防水、耐久性が向上します。

## ● 塗布工法

壁面等の施工など水のかわりに塗布しますと、付着力が増大し、作業性が良好となり、セメント等のドライアウトを防止します。

### 1 コンクリート下地（内外壁面）調合

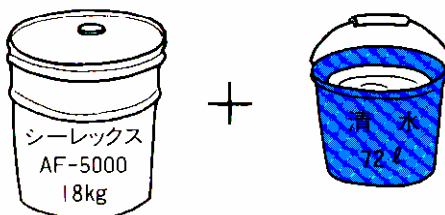


1 : 4 (5倍液)

●塗布後モルタル等は富士川シーレックスAF-5000が透明になれば、すぐに施工出来ます。(30分～1時間程度)

●富士川シーレックスAF-5000 1缶 (18kg) で約 400～600㎡ (150g/㎡～200g/㎡使用一稀釈液) 使用できます。

### 2 コンクリート下地（床面）調合



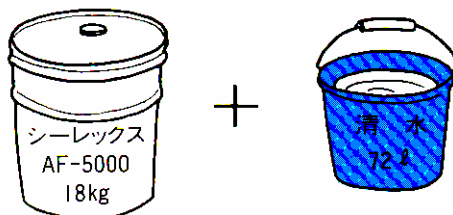
1 : 4 (5倍液)

●塗布後モルタル等は富士川シーレックスAF-5000が透明になれば、すぐに施工出来ます。(30分～1時間程度)塗布後ホコリ等が付着しないうちにモルタル等を施工して下さい。

●富士川シーレックスAF-5000 1缶 (18kg) で約 300～400㎡ (200g/㎡～300g/㎡使用一稀釈液) 使用できます。

●1個所にたまらない様、均一に塗布して下さい。

### 3 ALCT下地



1 : 4 (5倍液)

●富士川シーレックスAF-5000 1缶 (18kg) で約 300㎡ (300g/㎡使用一稀釈液) 使用できます。

## 使用上の注意

### ●下地処理

1. 表面のレイトランスを完全にに取り除き水洗いをして下さい。
2. 表面の油や汚れは完全に除去して下さい。

### ●使用

1. モルタル混入の場合はセメントと砂を空合わせし、次に所要量の富士川シーレックスAF-5000 稀釈液(2～3倍)を除々に混入して、次に水を加えて適度なやわらかさにして下さい。
2. モルタルの施工は下地にこすりつけるよう圧力をかけて下ごすりをし、その後5mm程度重ねていって下さい。

3. 富士川シーレックスAF-5000混入モルタルはなるべく早く使用して下さい。

4. 夏期や、通風の良い場所に混入モルタルを放置する場合は適当なカバーをして下さい。

5. 使用した道具は、作業終了時にすぐに水洗して下さい。

### ●保管

凍結しない様、又直射日光をさけて保管して下さい。

# 性能試験

## 混和剤として使用した場合

### 1 曲げ、圧縮強度試験

| 富士川シーレックスAF-5000<br>添加量(%) | 曲げ強度<br>(kg f/cm <sup>2</sup> ) | 圧縮強度<br>(kg f/cm <sup>2</sup> ) |
|----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 0                          | 45                              | 187                             |
| 5                          | 58                              | 221                             |
| 10                         | 70                              | 237                             |
| JISA6203                   | 40以上                            | 100以上                           |

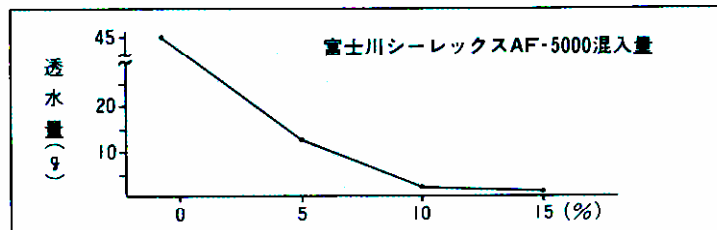
- 注) ①試験方法 JISA6203セメント混和用  
ポリマーデスペーションによる方法  
②養生 4週間  
③富士川シーレックスAF-5000の混入量はセメント  
質量に対する割合である  
④セメント/砂=1/3、針入度=18mm  
フロー値=160±8mm

### 2 吸水試験

| 富士川シーレックスAF-5000<br>添加量(%) | 吸水率<br>(%) | 吸水比  |
|----------------------------|------------|------|
| 0                          | 16.2       | 10   |
| 5                          | 6.8        | 0.42 |
| 10                         | 0.4        | 0.03 |
| JISA6203                   | 15以下       | —    |

- 注) ①試験方法 JISA6203セメント混和用  
ポリマーデスペーションによる方法  
②養生 4週間  
③水中に48h 浸漬20℃  
④富士川シーレックスAF-5000の混入量はセメント  
質量に対する割合である  
⑤セメント/砂=1/3、針入度=18mm  
フロー値=160±8mm

### 3 透水試験



- 注) ①試験方法 JISA6203セメント混和用  
ポリマーデスペーションによる方法  
②養生 4週間  
③水圧1kg/cm<sup>2</sup> 1h  
④富士川シーレックスAF-5000の混入量はセメント  
質量に対する割合である  
⑤セメント/砂=1/3、針入度=18mm  
フロー値=160±8mm  
⑥規定 30g以下

### 4 接着力試験

| 富士川シーレックスAF-5000<br>添加量(%) | 接着力<br>(kg f/cm <sup>2</sup> ) |
|----------------------------|--------------------------------|
| 0                          | 3.5                            |
| 5                          | 12.0                           |
| 10                         | 21.4                           |
| JISA6203                   | 10以上                           |

- 注) ①試験方法 JISA6203セメント混和用  
ポリマーデスペーションによる方法  
②養生 4週間  
③富士川シーレックスAF-5000の混入量はセメント  
質量に対する割合である  
④セメント/砂=1/3、針入度=18mm  
フロー値=160±8mm

### タイル貼り接着強度

| 配合 (kg)            | 接着強度 (kg f/cm <sup>2</sup> ) |
|--------------------|------------------------------|
| 富士川シーレックスAF-5000 8 | 31(常態4週後)                    |
| セメント 40            | 28(3週後水中1週間)                 |
| 珪砂6号 40            | 22(熱水繰り返し後)                  |
| メトロース 0.14         |                              |
| 水 12               |                              |

- 注) 乾いたコンクリート板の平滑面に混入モルタルを掃  
鍍で塗りつけ磁器タイルを圧着し、気乾養生を行っ  
た。測定建研式引張試験機による。

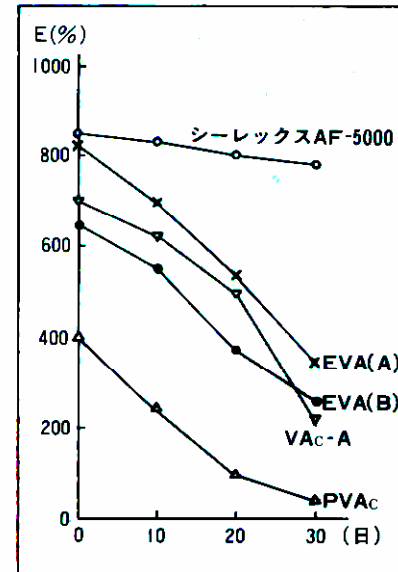
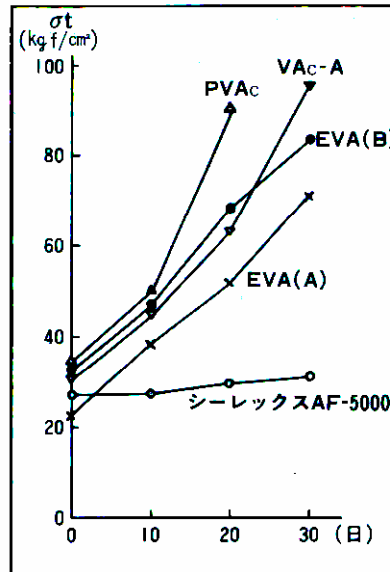
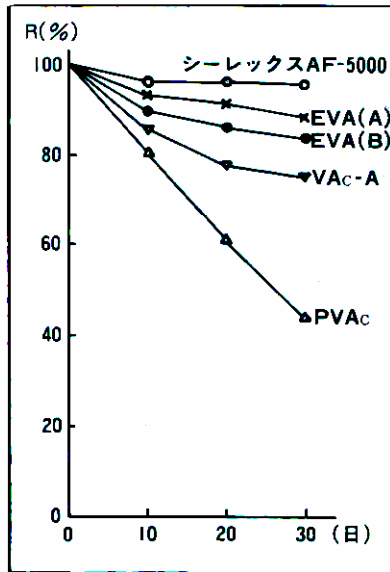
## 塗布剤として使用した場合

### 1 モルタル打継時間と接着力

| 打継時間  | 4週間後の強度 (kg f/cm <sup>2</sup> ) |
|-------|---------------------------------|
| 10分後  | 14.5                            |
| 2時間後  | 13.8                            |
| 24時間後 | 15.2                            |

- 注) ①富士川シーレックス塗布量  
150g/m<sup>2</sup> (5倍液)  
②下地 乾いたコンクリート板  
③川砂モルタル(1:3)9mm厚に塗り継ぎ  
④建研式引張試験機を用いてモルタルの付着強度を  
測定した。

## 2 皮膜の引張強伸度、耐アルカリ性



PVAc : ポリ酢酸ビニール  
 VAc-A : 酢ビ、アクリル共重合体  
 EVA : エチレン酢ビ共重合体  
 AF-5000 : 高級アクリル酸エステル系

浸漬日数 (日)



# 建築仕上げの流れを創る 富士川建材工業株式会社

URL <http://www.fujikawakenzai.co.jp/> e-mail [mail@fujikawakenzai.co.jp](mailto:mail@fujikawakenzai.co.jp)

|        |   |                                     |
|--------|---|-------------------------------------|
| 本社     | 〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町13                           | TEL (045)772-1811 FAX (045)772-0011 |
| 横浜支店   | 〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町4-20                         | TEL (045)769-2326 FAX (045)773-1315 |
| 東京支店   | 〒121-0061 東京都足立区花畑2-4-52                        | TEL (03)5686-5650 FAX (03)5686-5643 |
| 関東事業所  | 〒121-0061 東京都足立区花畑2-4-52                        | TEL (03)5686-5650 FAX (03)5686-5643 |
| 仙台事業所  | 〒983-0001 宮城県仙台市宮城野区港4-7-1                      | TEL (022)388-5033 FAX (022)254-8676 |
| 名古屋営業所 | 〒452-0843 愛知県名古屋市西区平中町5                         | TEL (052)506-2881 FAX (052)506-2883 |
| 大阪支店   | 〒567-0854 大阪府茨木市島1-18-5                         | TEL (072)630-6511 FAX (072)638-8766 |
| 広島事業所  | 〒733-0832 広島県広島市西区草津港2-4-19                     | TEL (082)270-0097 FAX (082)277-0422 |
| 福岡事業所  | 〒812-0881 福岡県福岡市博多区井相田1-10-1<br>スピリッツ井相田 I-102号 | TEL (092)285-8437 FAX (092)285-8427 |
| 工事管理部  | 〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町13                           | TEL (045)775-0771 FAX (045)772-0467 |